

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日:平成 4年 3月 25日

公表:平成 4年 3月28日

事業所名 _____

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		施設内での活動のほか、テラスや中庭を使用し活動を行っている。水遊び場もありタイルに色彩を用いて視覚支援が行なえるようにしている。	
	2	職員の配置数は適切である	○		利用者名に対し保育士2名、指導員1名を配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		色彩を用いて視覚的にわかるように環境整備を行っている。段差や階段などにはスロープ設置。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		支援計画更新時やモニタリング時、特変があったときに随時支援会議を開催し職員間で協議し共有している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年度末に保護者向け評価表を配布して意見を頂き、課題が出た場合は改善に努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		評価及び改善内容を保護者や地域の方がいつでも閲覧できるよ、ホームページに記載している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価は行なっていない。	外部評価ができるようにしていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		弊社内部研修・外部研修への参加、豊川市地域自立支援協議会開催の研修への参加、今年度はオンラインでの研修参加を行った。	来年度は研修機会をもっと増やすようにしていきたい。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		計画更新時や特変時など、必要時にアセスメントを行い、その状況や成長段階に応じて必要な支援や活動の検討している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		事業所で共通のアセスメント用紙を用いているが、標準化されたものにするよう、検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		支援会議時などに職員間で行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用者ひとりひとりの特性を把握し、成長に合わせた活動を行うよう心掛けている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		学校休業日はイベントや外出レクリエーションを取り入れている。平日は、個別課題を行い、体力つくりの散歩を行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別・集団それぞれのニーズや課題を抽出し、支援計画の作成をしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前に打合せ等行っているが、送迎職員もいるため、参加できない職員に対しては書面やメールにて行っている。	送迎があるため、職員全員揃っては難しい状況。書面やメールなどのツールを活用し、職員間でその日の支援内容や役割分担の確認をする。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援開始前に打合せ等行っているが、送迎職員もいるため、参加できない職員に対しては書面やメールにて行っている。	送迎があるため、職員全員揃っては難しい状況。書面やメールなどのツールを活用し、職員間でその日の振り返りの確認をする。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援経過記録を作成している。そこからモニタリングなどの検証を行っている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		基本半年に1度のモニタリングを行っているが、特変があったときには随時行っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		ひとりひとりに合った個別活動を行い、集団での活動も行っている。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議には児童発達支援管理責任者が参加している。		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○		学校との直接的な共有は個人情報保護があるため、難しい状況。保護者から学校の情報をいただき、把握している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				該当利用者なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			個別の支援会議への参加をし情報共有をしている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			個別の支援会議への参加をし情報共有をしている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			豊川市地域自立支援協議会こども部会への参加を行い情報共有を行ったり、相談支援専門員を通し、事例の検討や個別の支援会議への参加をしている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			コロナの状況を見て地域のこども達と交流する場を設けていけるよう努める。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			放課後等事業所連絡会や豊川市地域自立支援協議会こども部会へ参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳の他、今年度は電話が多かったが保護者と連絡を取り合い、課題などの共有理解に努めた。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			今年度は主に電話での対応多かったが、保護者の悩み等行ない、助言等行った。		

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に必ず面談し説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		今年度は主に電話での対応多かったが、保護者の悩み等行ない、助言等行った。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者同士が集まる保護者会の開催はしていない。今後開催の検討を行っていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約時に苦情窓口の案内を周知し、苦情に対しては記録を残し管理を行った。適切な対応をするよう心掛けている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ふわり便りや連絡帳でのやり取りを行っている。	来年度からは、保護者や地域の方々に対し、ふわりでの活動の様子が分かるよう、SNSなどのツールを使用し発信していく予定。
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵付きの書庫に保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		ひとりひとりにあったコミュニケーションツールを使用している。保護者へは連絡帳や大きく変わったことは電話にて情報伝達をしている。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		弊社のデイサービス事業所へ訪問し、高齢者の方と触れ合う機会を設けている。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		災害時やコロナに対するBPCの作成を行い、保護者、職員が自由閲覧ができるようにしている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に2回の避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		今年度は、弊社第三者委員による職員全体に向けた虐待防止の研修を行った。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	現状身体拘束を必要とする利用者様がいないため、該当なし。	身体拘束を必要とする利用者様がいない場合には保護者への説明を行い、同意を得たうえで支援計画に記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		年に1度のアセスメントで確認をしている。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		共有している。		